

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

【はじめに】

(1) 公益社団法人関西吟詩文化協会は、本年「公益社団法人」として内閣総理大臣の認定を受けてから 7 年目を迎えますが、昭和 9 年の創立以来 85 周年の節目の年となります。

本会は創立以来、「詩歌吟詠活動そのものが国の伝統技芸の伝承と、国民の精神文化の向上発展に寄与している」と信じ、真摯な努力を重ねて参りました。私たちはこの長い歴史の積み重ねを振り返り、先輩諸先生への感謝と誇りをもって吟詠活動に努めるとともに、これからも、「一生初心」の会訓を心に留め、勇気と行動をもって課題に挑戦して参ります。

(2) 本年度は全国を 5 地区（近畿・東海・中国・四国・九州）に分けて、「創立 85 周年並びに公益社団法人設立 7 周年記念大会」を開催いたします。この 1 年をかけてすべての会員が歴史の重みをかみしめ更なる発展への決意を確認する機会にしたいと考えます。

(3) 新執行部はこの 1 年、従来の「温故新生」のスローガンに「視座を変えて」の合言葉を付加し、物事の解決にあたって、単に視点を変えるということだけでなく、「表面だけでなく問題の根幹をみる」「多面的・多角的な角度からみる」「長期的な視野でみる」そんな姿勢を大事にして検討を行ってきました。まだ緒についたばかりですが、本会が永遠に進化発展するために、伝統の良い点は残して継承し、時代の変化に即して、変えるべき点は勇気をもって変えていかねばなりません。

- ① 本部と地区連合会・各会との課題の共有については、一部の地区連合会役員の先生、各会の会長先生と意見交換をし、貴重な意見を頂戴して、事業運営の参考にさせていただき進めております。今後ともこれを拡げてまいります。
- ② 公益事業の推進は、本部事業のみにとらわれず検討を重ねておりますが、まだ十分とはいえません。今後、公益事業のすそ野を拡げるため、更に幅広く地区事業をも含めて推進いたします。
- ③ 中期的な採算改善に取り組むため、本部各部委員会の活動を、横断的・機能的に見直しを行い、包括的に業務を統括する組織として「局」を設置し、業務執行役員

として、副会長に各局長・副局長をお願いし、効率化をはかっており成果が表れつつあります。

- ④ 積年の懸案事項でありました「会館建設問題」にもピリオドを打ち、現会館に耐震工事・エレベーター設置等大幅改修を加え、会員がより快適にご利用いただけるような会館に、全面改修する予定と致しました。会館建設積立金と余剰資金の有効活用を図ります。
- ⑤ 10か年の収支計画を策定し、事業運営に反映させていきます。

吟界は、吟詠人口の減少と愛好者の高齢化という大変厳しい環境にあり、本会も例外ではありません。再入会促進キャンペーンなど、さまざまな対策を講じておりますが、減少傾向に歯止めがかからず、残念な状況が続いております。しかしながら、諦める事無く、高齢化を好令化ととらえ、高齢者が楽しめるような、吟詠歌謡等も視野に入れながら、事業運営を行います。

また、当然のことながら、将来を託せる指導者の育成の為、青少年の活性化を図り、青年部による企画運営のバックアップを行います。なお、各行事においても、青年層が積極的に参加できるような環境づくりに努めます。

【平成 30 年度基本方針】

会 訓

『一生初心』

スローガン

『温故新生』（ 視座を変えて！ ）

平成 30 年度事業計画

自：平成 30 年 4 月 1 日～至：平成 31 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会 (一般来聴公募)

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又地区事情に合わせて、新指導者の研修を組み込む。

- ① 吟詠普及推進事業 創立 85 周年全国吟詠大会 (全国 5 地区で開催)
関西吟詩の自主公演を行い、素晴らしい吟詠を不特定多数の人に鑑賞頂く。
関東東海地区・近畿地区・西中国地区・四国地区・九州地区の 5 地区に於て
公演を実施する。
1. 全国吟詠大会東海地区大会 (東海・三重・関東) 一般来聴公募
平成 31 年 2 月 17 日 (日) 東海市芸術劇場
約 1,000 名参加予定 (内一般会員他 500 名) 自主公演
 2. 全国吟詠大会近畿地区大会 (大阪・京滋福・奈良・兵庫・和歌山・岡山)
一般来聴公募
平成 30 年 10 月 21 日 (日) 尼崎市立アルカニックホール (尼崎市)
約 1,800 名参加予定 (内一般会員他 900 名) 自主公演
 3. 全国吟詠大会中国地区大会 (広島・島根・山口) 一般来聴公募
平成 30 年 11 月 18 日 (日) 広島市安芸区民文化センター
約 500 名参加予定 (内一般会員他 200 名) 自主公演
 4. 全国吟詠大会四国地区大会 (徳島・高知・香川・愛媛) 一般来聴公募
平成 31 年 2 月 24 日 (日) 美馬市地域交流センター
約 300 名参加予定 (内一般会員他 150 名) 自主公演
 5. 全国吟詠大会九州地区大会 (大分・熊本・長崎・鹿児島) 一般来聴公募
平成 31 年 3 月 10 日 (日) ミリカローデン那珂川
約 500 名参加予定 (内一般会員他 200 名) 自主公演
- ② 新春全国吟詠大会
新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の
吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、懇親を深める。
・平成 31 年 1 月 13 日 (日) 於 太閤園ダイヤモンドホール
約 400 人参加(内一般会員他 100 人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂く。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・平成30年6月10日（日）
約400名参加(内一般会員他150人) 於 エーリック(尼崎)
- ・九州大会 平成30年6月24日(日) 150人参加予定(内一般会員他100人)
- ・中国(島根)大会 平成30年8月5日(日) 150人参加予定(内一般会員他70人)
- ・岡山大会 平成30年8月19日(日) 200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・東海大会 平成30年11月23日(日) 250人参加予定(内一般会員他70人)
- ・京滋福大会 平成31年2月10日(日) 200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・和歌山大会 平成31年2月予定 200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・中国(広島)大会 平成31年3月17日(日) 400人参加予定(内一般会員他100人)

(2) 各公認団体等の記念大会等への後援

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・小中学での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞のDVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。

(5) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）

平成31年3月24日（日） 約500名参加予定

(6) 電磁的公報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為のテレビ放映の実施
マスコミを通じての吟詠推進活動を実施するとともに、吟界の吟詠普及推進マスコミ基金への拠出を行う。
 - ・サンテレビ・ラジオ関西他、地区のTV・ラジオ「CM」の放映。
 - ・吟界の吟詠普及推進マスコミ基金への拠出
- ② ホームページでの吟詠普及
 - ・ホームページのリニューアルの実施
スマホ時代に対応する為のリニューアルの実施
教場紹介コーナーの設置の検討
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
 - ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。

③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）

- ・吟詩日本を時代に即応する為のリニューアルを実施する。
- ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・「吟詩日本」発行 (181号、182号、183号、184号)
- ・「吟詩日本」特別号発行 (正会員、準会員への無料配布)

(7) 教本発行 (一般販売)

① 教本冊子頒布

・新教本初級編 (既刊)	1冊(20題)
新教本 A その2 (既刊)	1冊(60題)
新教本 A その3 (既刊)	1冊(60題)
新教本 A その4 (既刊)	1冊(60題)
教本絶句詩編 A3 ~A6 (既刊)	4冊(120題)
単行本 A61~A68 (既刊)	4冊 (23題)
教本律詩編 B1~B3 (既刊)	3冊 (90題)
単行本 B31~B33 (既刊)	3冊 (9題)
教本古詩編 C1~C3 (既刊)	3冊 (65題)
教本和歌・俳句・新体詩 D1 (既刊)	1冊 (30題)
単行本 D11~D17 (既刊)	7冊 (27題)
教本副読本(アクセント入り)	
4句詩編(既刊)	1冊
6・8句詩編(既刊)	1冊
長詩編(既刊)	1冊
教本縮刷本 A (絶句編) 新刊	1冊
B (律詩編) (既刊)	1冊
C (古詩編) (既刊)	1冊
点字テキスト新 A その1 (既刊)	1冊
新教本発行 縮刷本 A (絶句編)	1冊
D号合本	1冊
「和歌・俳句・新体詩」縮刷本の検討	
論語の吟詠集の検討	

② 「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本 (ドレミファの譜面付)
- ・論語の吟詠集の作成を検討する。
- ・中国語(台湾語)テキスト作成の検討
- ・英語のテキスト作成の検討

(8) 海外移動教室の開講

- ・中国研修(曲阜・開封での漢詩の世界探訪並びに中華吟誦会との交流)
平成30年5月14日~19日 参加者 約30名

(9) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上に資する。

- ・地区連合会や公認団体の集合体の主催を進める。

・時期回数は未定

(10) 災害復興支援活動の実施

・災害復興義援金の募集活動継続実施（各事業毎に呼びかける）

公益目的 2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催（一般来聴歓迎）

① 全国新人中間層競吟大会 平成 30 年 11 月 11 日（日）
エーリック（尼崎） 参加者 600 名 出吟者 300 名

② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会
平成 30 年 12 月 9 日（日）
現代劇場（高槻）
参加者 600 名 出吟者 210 名

③ 全国競吟大会予選大会

・大阪地区大会・九州地区大会・中国地区大会・岡山地区大会
・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与する。
・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、総本部長が認定する。

平成 30 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 31 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施する（師範・準師範・師範）

福岡試験場 平成 30 年 6 月 24 日（日）

広島試験場 平成 30 年 6 月 17 日（日）

名古屋試験場 平成 30 年 6 月 17 日（日）

③ 昇格試験及び研修会実施（総本部試験場）

師範・準師範 平成 30 年 7 月 15 日（日）

師範代 平成 30 年 7 月 22 日（日）

（昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 9 日の東明祭において免許状を授与する）

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う

- ・ 吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(本部)
平成30年6月10日(日) エーリック(尼崎)
約400名参加(内一般会員他150人)
- ・ 吟詠普及推進研修会中国(島根)地区大会
平成30年8月5日(日) 約150名参加(内一般会員他70人)
- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
平成30年6月24日(日) 約150名参加(内一般会員他150人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
平成30年8月19日(日) 約200名参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会東海地区大会
平成30年11月23日(日) 約250名参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会
日時未定 約200名参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会中国(広島)地区大会
平成31年3月17日(日) 400人参加予定(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
平成31年2月10日(日) 約200名参加(内一般会員他100人)

② 指導者研修会

- ・ 推薦師範講習会・・・平成30年6月10日(日)
エーリック(尼崎)
- ・ 本部研修会(平成31年度師範昇格試験課題詩講習)
平成30年9月2日(日) 大東市市民会館大ホール
吟詠6題 和歌3題 約400人参加
- ・ 本部研修会(平成31年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)
平成30年11月25日(日) エーリック(尼崎)
律詩8題 絶句10題 約400人参加
- ・ 新教本講習会
平成30年5月13日(日) エーリック(尼崎)
新体詩 3題 約400人参加
平成30年9月9日(日) 大東市市民会館
新体詩 2題 約400人参加

③ 吟道大学講座の開講

- ・ 平成31年2月2日～3日 パナソニックリゾート大阪
- ・ 漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修 参加者 約150人

④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設

漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修

○総本部コース

- ・ 開催回数

平成30年5月26日(土)

平成30年7月28日(土)

平成30年9月29日(土)

平成30年11月24日(土)

平成 31 年 1 月 26 日(土)

平成 31 年 3 月 23 日(土)

・ 受講者数 50 名

○地方コース

- ・ 東海地区 (静岡・愛知・三重) 3 回/年間
- ・ 四国地区 (徳島・香川・高知・愛媛) 2 回/年間 (1 泊 2 日)
- ・ 九州地区 (福岡・大分・佐賀・熊本・長崎・鹿児島) 3 回/年間

⑤ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

・ 毎月第 2 金曜日 午後 3 時～5 時 00 分迄

年 12 回 (前期、後期に分けて)

総本部 会議室 参加者数 延 約 600 名

⑥ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

4 回/年 参加者数 400 名

⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

・ 2 カ月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄

年 6 回 総本部 会議室 参加者数 延 約 400 名

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

- ・ 指導局指導部会 10 回以上/年
- ・ 指導局教養部会 6 回以上/年
- ・ 秀詠グループ吟詠研究会 6 回以上/年
- ・ 教本作成部会 10 回以上/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・ 広報局広報部 10 回/年
 - ・ ホームページ委員会 10 回/年
- 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。
- ・ 広報局企画部 10 回/年
 - ・ 青年部 10 回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

- ・ 作詩添削委員会

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ① 教本詳解
- ② 誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③ 作詩便覧 宮崎東明編
- ④ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ① 俳句新体詩伴奏曲集
- ② 和漢名詩選(1)・(既存) ③ 和漢名詩選(2)・(既存)
- ④ 和漢名詩選(3)・(既存) ⑤ 和漢名詩選(4)・(既存)
- ⑥ 和漢名詩選(5)・(既存) ⑦ 本部指導者研修会収録編
- ⑧ 伴奏曲集(俳句・新体詩)・(既存)
- ⑨ 国歌・関西吟詩会歌伴奏編・(既存)

(3) DVDの頒布

- ① 李白 ② 坂本龍馬 ③ 勝海舟
- ④ 西郷南洲 ⑤ 高杉晋作 ⑥ 吉田松陰
- ⑦ 義経 ⑧ 天璋院篤姫

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成30年7月1日

平成31年1月1日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成30年9月1日

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

平成30年9月2日

(2) 記章の販売

「師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- | | | |
|----------------------|---------------|---------------------|
| (1) 東明祭の開催 | | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) | 東明祭 | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (3) 慶寿、成人祝 | 東明祭 | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施 | 東明祭 | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| 吟功章 | (上師範、高師範、総師範) | |
| 特別吟功章 | (宗範) | |
| 特別昇格 | (上師範、高師範、総師範) | |
| 特別功労賞 | (宗 帥) | |

4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催
平成 30 年 6 月 2 日 (土) :エーリック(尼崎市)
- (2) 各種会議
 - ① 総会
 - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
 - ③ 元老・相談役・参与会議
 - ④ 部 会 (総務部・財務部)
 - ⑤ 懇談会
都府県連合会代表者会議
都府県連合会連絡協議会
 - ⑥ 東明未来塾運営委員会
 - ⑦ 特別審議委員会
 - ⑧ その他特別検討委員会
- (3) 代議員選挙の実施
 - ① 公示(予定) 平成 31 年 1 月 15 日
 - ② 立候補受付締切(予定) 平成 31 年 2 月 1 日~2 月 10 日
 - ③ 投票(予定) 平成 31 年 3 月 1 日~3 月 10 日
 - ④ 開票(予定) 平成 31 年 3 月 11 日
 - ⑤ 選挙結果(予定) 平成 31 年 3 月 17 日迄に結果報告

以上